

第 2 期
射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略
～選ばれるまち快適安心居住都市 いみず～
令和 3 年度進捗状況報告書
(案)

令和 4 年 8 月
射 水 市

目次

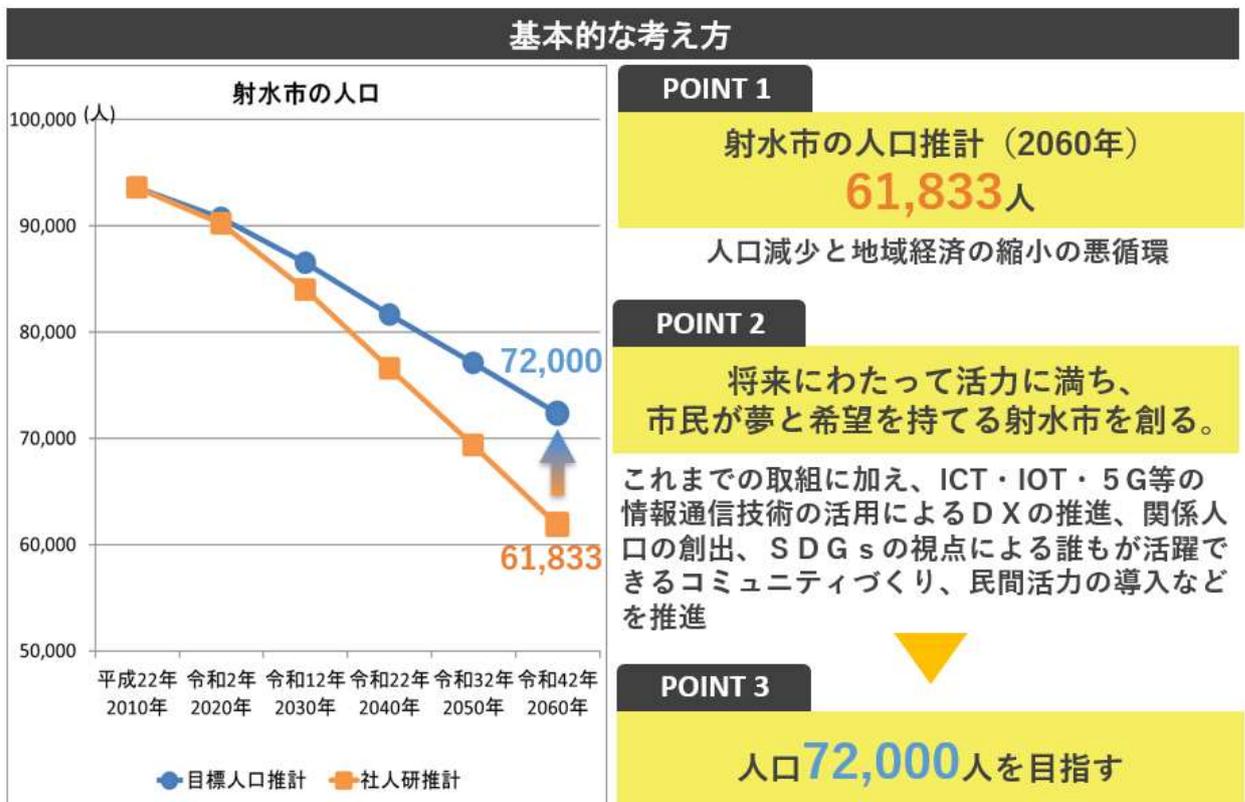
1	報告書策定の趣旨	1
2	人口の状況	2
3	評価の方法	3
4	数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況	4
5	総合戦略の改訂	12
6	令和3年度地方創生交付金活用事業の効果検証	12
7	総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標	18

1 報告書策定の趣旨

本市では、平成27年10月に人口減少の克服と地域活性化による地方創生を強力に進め、将来にわたって活力に満ち、市民が夢と希望を持てる射水市を創るため、「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定した。令和元年度には第1期の検証等を踏まえ、第2期総合戦略（令和2年度～令和6年度）を新たに策定している。

総合戦略は、4つの基本目標にそれぞれ数値目標を、各施策には重要業績評価指標（KPI）を設定しており、毎年度、射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会において、施策の効果検証等を行い、必要に応じて総合戦略の見直しを行うこととしている。

今回は、第2期の2年目である令和3年度の進捗状況について報告するものである。

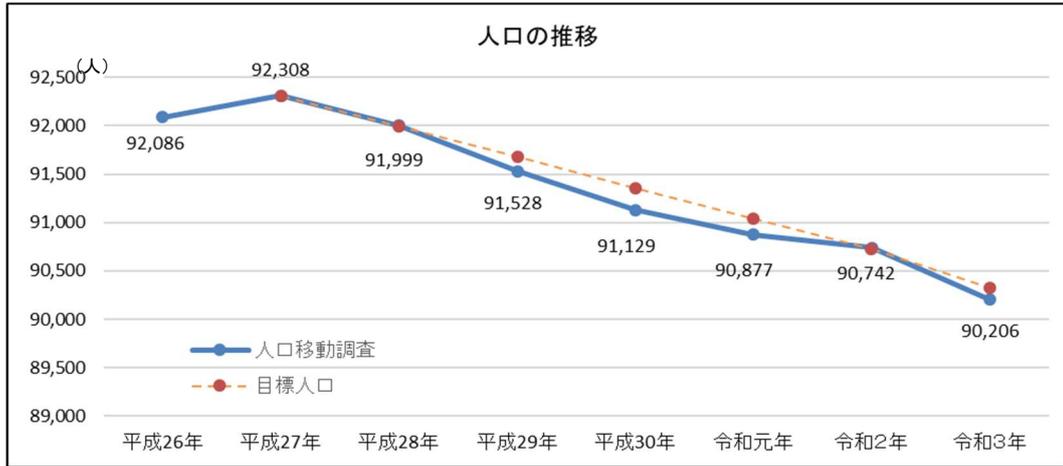


基本目標 1	結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり
基本目標 2	地域のしごとづくり
基本目標 3	市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり
基本目標 4	安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり

2 人口の状況

(1) 人口の現状

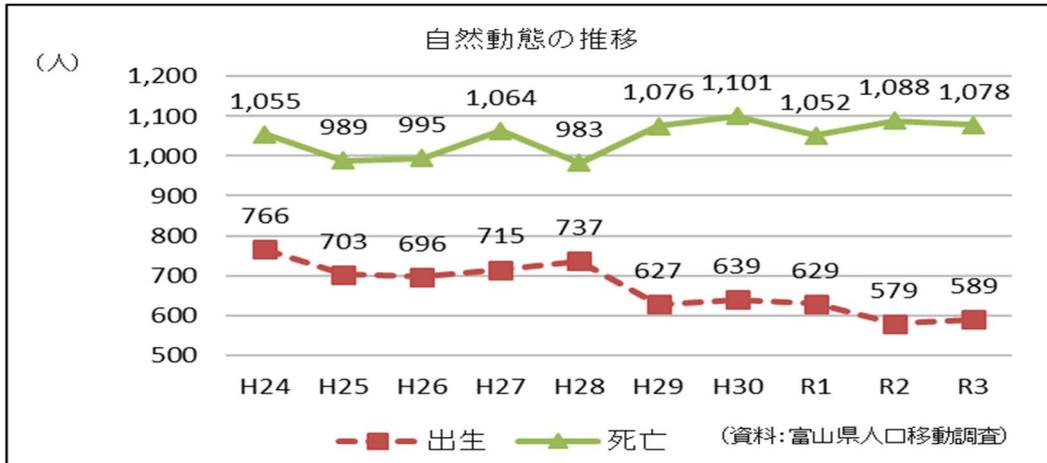
令和3年10月1日現在の本市の総人口は90,206人で、前年と比較して536人、0.59パーセントの減となった。国立社会保障・人口問題研究所が、平成27年度の国勢調査等に基づき試算した人口推計によると、2021年時点の射水市の推計人口は89,612人であり、594人上回っているが、目標人口90,319人を113人下回った。



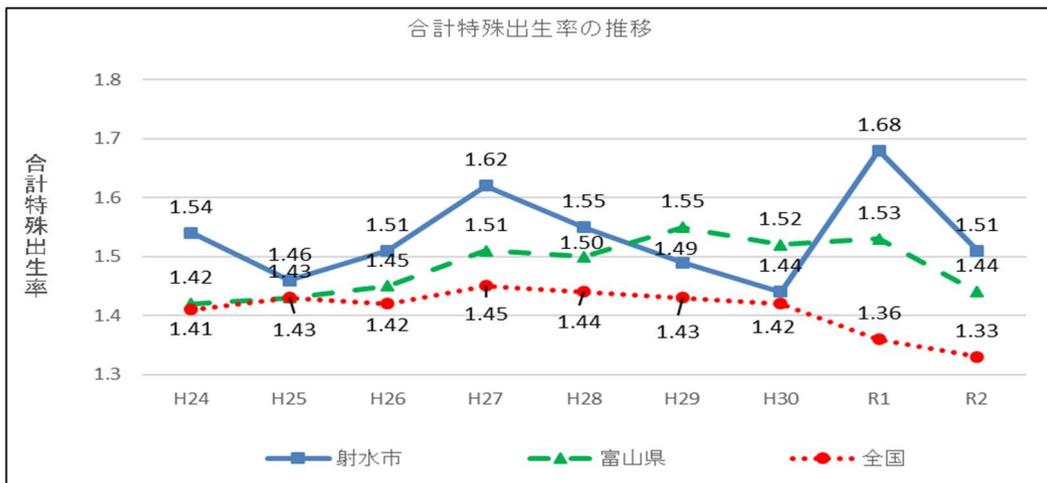
(資料: 富山県人口移動調査)
※平成27年、令和2年は国勢調査

(2) 自然動態

① 令和3年の出生者数は589人で、前年と比べ10人増加した。一方、死亡者数は1,078人で、前年と比べ10人減少し、自然動態は489人のマイナスとなった。

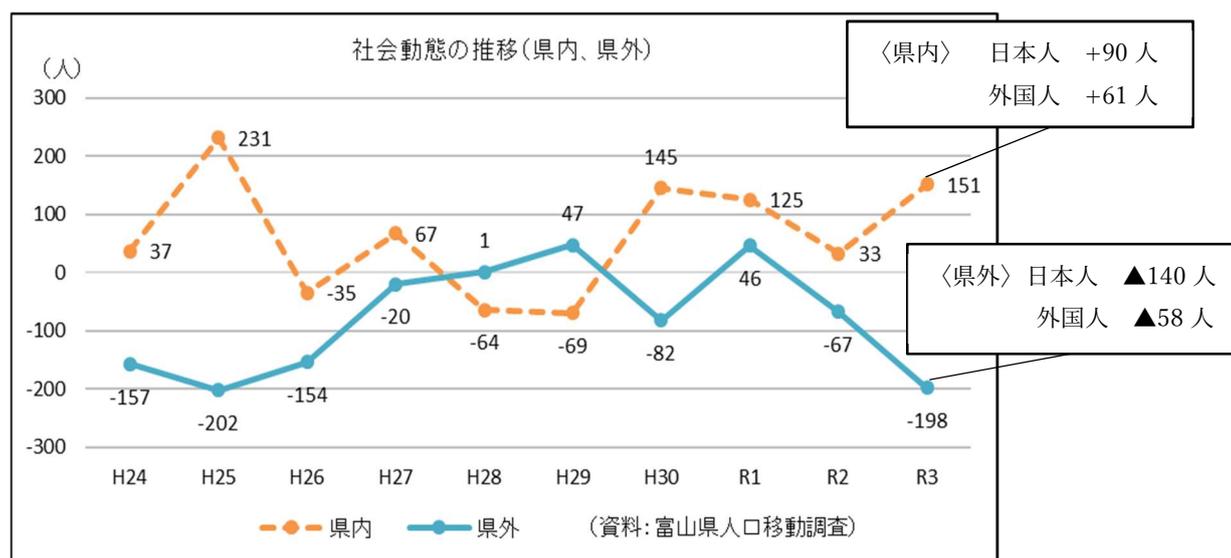


② 令和2年の合計特殊出生率は1.51であり、前年から0.17ポイント下降したが、国及び県の数値よりも上回った。



(3) 社会動態

令和3年の転入者数は2,516人で、転出者数の2,563人を下回り、社会動態は47人のマイナスとなった。また、県内・県外別の移動では、県内で151人の転入超過、県外では198人の転出超過となった。これは、日本人の県内移動が増加したこと、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人の転入者が減少していることによるものと考えられる。



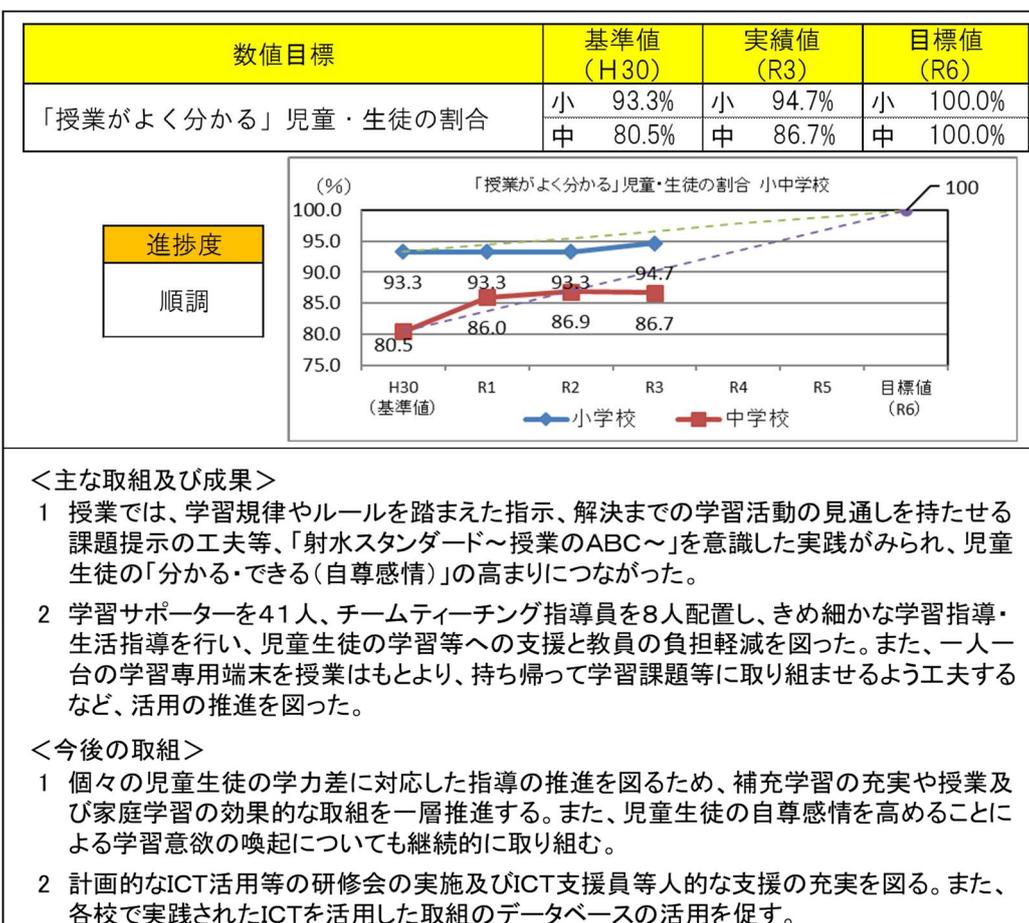
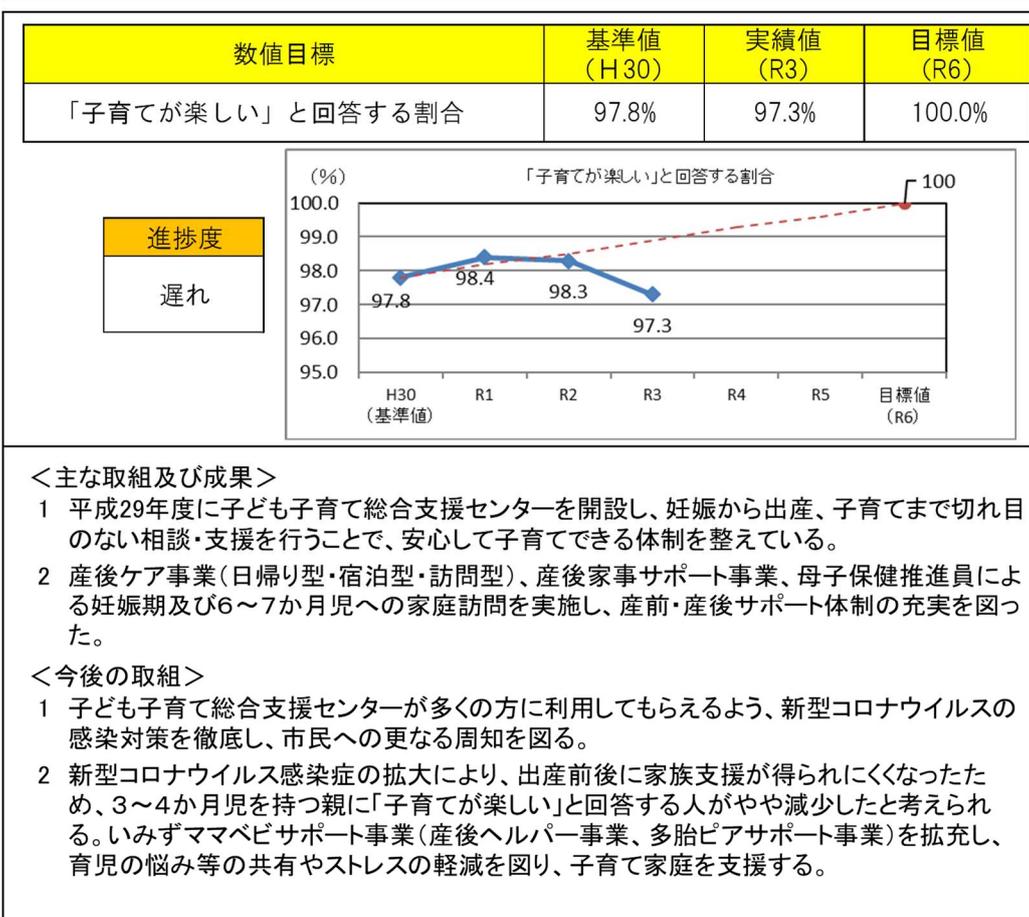
3 評価の方法

第2期射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を客観的に検証するため、数値目標及び重要業績評価指標 (KPI) を次の5段階で評価を行う。

- | | |
|----------|----------------------------------|
| (1) 達成 | ・・・最終年度の目標値を達成している。 |
| (2) 順調 | ・・・目標値に対して基準値からの進捗率が49%以上 |
| (3) 概ね順調 | ・・・目標値に対して基準値からの進捗率が24.5%以上49%未満 |
| (4) 維持 | ・・・目標値に対して基準値からの進捗率が24.5%未満 |
| (5) 遅れ | ・・・基準値を下回っている。 |

4 数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況

基本目標1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり



重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	2	1	0	4	8

※小学校、中学校で区別されているものは分けて計上

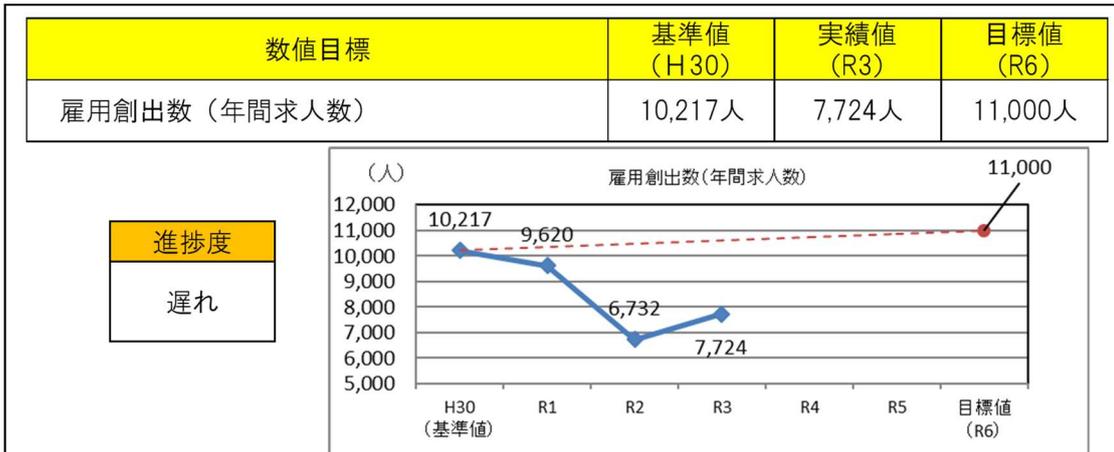
KPI		基準値 (平成30年度)	実績 (令和3年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
1	男女出会いイベント数	4 件	8 件	8 件	達成
2	休日保育実施保育園数	9 園	8 園	10 園	遅れ
3	子育て支援センター(市内9か所)の年間利用者数	50,122 人	21,966 人	55,000 人	遅れ
4	新 R2 射水市子育て支援センター利用者満足度	(基準値R1) 89.0 %	98.0 %	100 %	順調
5	子育て情報ちやいる.comへのアクセス数(累計)	99,569 件/年	7,715,407 件/年	538,000 件/年	達成
6	新 赤ちゃんの駅設置箇所数	37 箇所	38 箇所	45 箇所	維持
7	男性の育児休暇取得率	18.9 %	15.6 %	20.0 %	遅れ
8	3歳6か月児健康診査の受診率	99.2 %	99.3 %	100 %	維持
9	家庭学習の1日当たり時間が「10分間×学年」以上の児童・生徒の割合	(小学校)88.2 %	(小学校)89.0 %	(小学校)100 %	維持
		(中学校)68.3 %	(中学校)63.7 %	(中学校)100 %	遅れ
10	地域の行事に参加している児童・生徒の割合	(小学校)79.3 %	(小学校)77.0 %	増加	遅れ
		(中学校)61.2 %	(中学校)63.4 %	増加	維持
11	不登校児童・生徒数	(小学校)32 人	(小学校)37 人	減少	遅れ
		(中学校)63 人	(中学校)90 人	減少	遅れ
12	家庭教育に関する講座・学習会の年間参加者数	994 人	119 人	1,100 人	遅れ

※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

※新 R2…新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和2年度末の改訂時に新たに設定したもの

- 「子育て支援センターの年間利用者数」については、新型コロナウイルス感染予防対策として、利用者数を制限したことにより利用者が減少したが、「射水市子育て支援センター利用者満足度」は、「県外出身ママ・こら〜れ♪」など新たなサークル活動の実施や各種イベント回数を増やすなど、利用者のニーズに応じたメニューを充実したことにより満足度が上昇した。
- 「男性の育児休暇取得率」は、毎年、調査対象者（対象企業）が異なるため、今回は低くなったが、商工団体の会議等の機会を捉えて周知を行い、企業の意識改革や育児休暇取得の促進に努める。
- 「家庭学習の1日当たり時間が「10分間×学年」以上の児童・生徒の割合」については、特に中学2年生の家庭学習の取組時間に課題が見られた。入学時から臨時休業措置にあった状況や長期にわたるコロナ禍が影響し、初期段階の家庭学習の習慣化を図る取組が十分に行えなかったことがその一因であると考えられる。
- 「不登校児童・生徒数」については、小・中学校ともほぼ横ばいであったが、依然として中学校での不登校生徒の割合は高い状況にある。家庭に不安を抱える子が増加傾向にあることに加え、中学校では学習への不安も増える傾向にある。引き続き、教育アドバイザーによる研修の充実と悩みを抱える児童生徒や保護者、教職員に対する相談体制の整備を図る。また、不登校児童生徒と学校とのつながりを維持するとともに学びを保障していくために、オンライン授業の提供を行い、教員との信頼関係が構築でき、児童生徒の心の安定を促すケースが見られた。

基本目標2 地域のしごとづくり

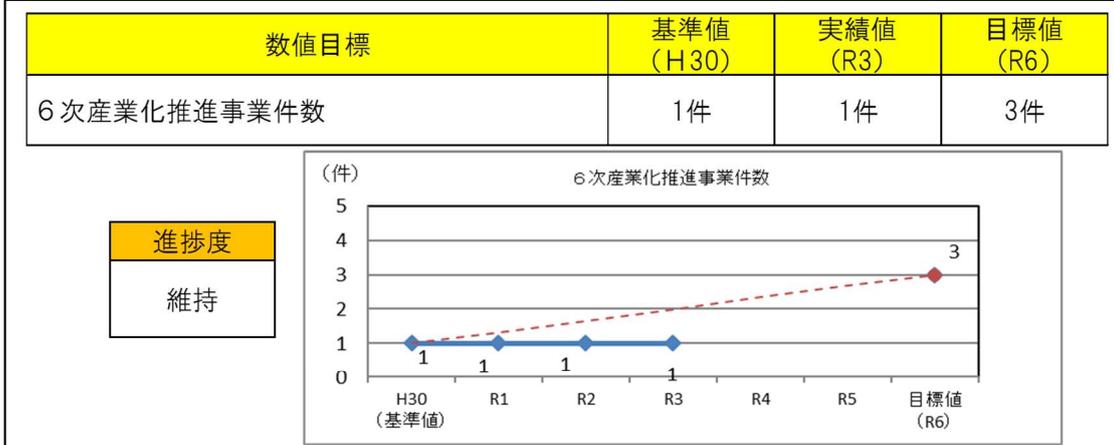


<主な取組及び成果>

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に有効求人倍率が減少する中であっても、富山県及び高岡管内の有効求人倍率は全国平均を上回った。
※高岡管内有効求人倍率: H30年度2.06、R1年度1.85、R2年度1.26、R3年度1.56(富山県1.45、全国平均1.16)

<今後の取組>

- 1 合同企業説明会参加支援について、補助対象を三大都市圏から県外に拡充したところであり、制度の周知と活用の促進に努める。
- 2 参加学生が減少傾向にあることから、民間開催の説明会と日程が重複しないよう調整を図る。また、開催方法(対面・オンライン・併用)については、今後の新型コロナウイルス感染症の状況や参加者(事業者・学生)のニーズを見極めながら検討する。
- 3 市内企業のテレワーク環境等の整備促進を図り、遠隔勤務など、新しい雇用形態への取組を支援する。



<主な取組及び成果>

- 1 射水6次産業掘り起こし事業として、観光農園事業案があったが、コロナウイルス感染症の影響により計画実施が困難な状況であった。

<今後の取組>

- 1 富山6次産業化サポートセンターによる、専門的な指導助言を積極的に活用し、6次産業化を推進する。
- 2 6次産業化による新商品開発等に向け、国県の補助事業を積極的に活用する。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	0	3	1	2	4

KPI		基準値 (平成30年度)	実績 (令和3年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
13	市内企業団地分譲率	97.6 %	97.6 %	100 %	維持
14	創業支援事業補助金年間 利用件数	15 件	13 件	20 件	遅れ
15	産学官金連携による共同 研究の年間件数	14 件	9 件	15 件	遅れ
16	新 射水ブランド商品開発等支援補 助金を活用した延べ件数	1 件	3 件	7 件	概ね順調
17	新 養殖サクラマスの年間出 荷数	17,200 尾/年	16,190 尾/年	40,000 尾/年	遅れ
18	新 IT、IoTを活用して生産性向上 に取り組む事業者の割合	0.0 %	21.8 %	30.0 %	順調
19	新 R2 テレワークを実施している 企業数	(基準値R2) 0 件	35 件	増加	順調
20	新 長時間労働の削減に取り 組む事業者の割合	56.3 %	63.1 %	65.0 %	順調
21	中小企業退職共済加入者 数	3,759 人	3,865 人	4,200 人	維持
22	人材確保充足数	1,601 件	1,241 件	1,650 件	遅れ

※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

※新 R2…新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和2年度末の改訂時に新たに設定したもの

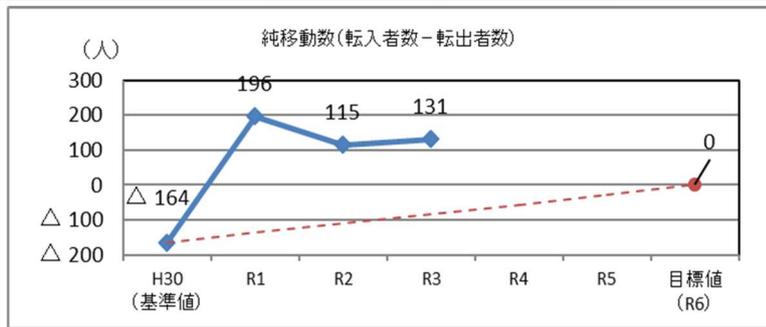
- 「産学官金連携による共同研究の年間件数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により対面型の相談会が開催できない等の影響があり、R3年度は相談件数が減少した。相談内容はアフターコロナに向けた新商品開発等が多い。
- 「IT、IoTを活用して生産性向上に取り組む事業者の割合」は、令和3年度企業状況調査（令和4年2月実施）から調査開始したものである。「IT活用支援事業補助金」や令和4年度に新設した「中小企業DX推進事業補助金」の周知・活用促進を通じて、中小企業のIT、IoTを活用した生産性の向上を支援する。また、DXセミナーやDX個別相談会を開催し、中小企業の課題・ニーズを把握し、必要な支援へ繋げていく。
- 「テレワークを実施している企業数」についても、令和3年度企業状況調査（令和4年2月実施）から調査開始したものである。令和2年度から、テレワーク・ビデオ会議システム等リモート化整備等に補助しており、令和4年度に新設した「中小企業DX推進事業補助金」の周知・活用促進を通じて、中小企業のテレワーク環境の整備を支援していく。
- 「人材確保充足数」については、求人が求職を大幅に上回って推移し、持ち直しの動きがみられるが、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に今後も注意する必要がある。引き続き、射水市雇用対策推進協議会やとやま呉西圏域連携事業による合同企業説明会を開催し、市内企業と求職者とのマッチングを図る。

基本目標3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)
純移動数(転入者数-転出者数)	△164人	131人	0人(均衡)

※直近5年間の累計

進捗度
達成



<主な取組及び成果>

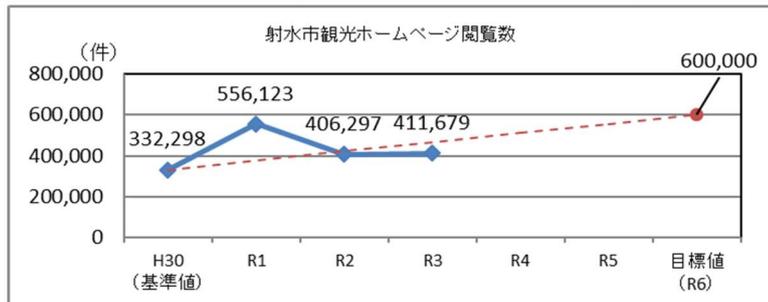
- 1 新型コロナウイルス感染症の影響等により、首都圏及び関西圏向けに、富山県や呉西圏域で連携し、オンラインでの移住セミナーや情報発信に取り組んだ。

<今後の取組>

- 1 技能実習生など外国人の転入が多いことから、多言語対応や地域との繋がりを大切にする取組を進め、外国人にとっても住みよいまちづくりを進める。
- 2 若者の定住やUIターン促進に一層努めるとともに、多くの人に本市を訪れてもらえるような施策を様々な分野で展開していく。
- 3 引き続き本市へのUIターンを促進するため、県外の高等教育機関に在学する学生の市内企業への就職活動等に係る交通費の一部を支援する「学生UIターン応援事業」に引き続き取り組む。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)
射水市観光ホームページ閲覧数	332,298件	411,679件	600,000件

進捗度
概ね順調



<主な取組及び成果>

- 1 新型コロナウイルス感染症に関する情報(施設・飲食店の営業時間の変更など)をすばやく正確に情報発信することで、市民の安全安心の確保に努めた。
- 2 24時間応答可能なAIチャットボットの導入や9言語(日本語、英語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、韓国語、タイ語)対応の観光サイトJFM(JAPAN in JAPAN for Municipality)の射水市紹介ページにアクセスできるバナー画像を設置した。

<今後の取組>

- 1 メディアの露出に対応した内容を掲載する等、効果的な発信を行い、アクセス数を伸ばす。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	4	3	0	0	9

※把握できなかった1件を除いて計上

KPI	基準値 (平成30年度)	実績 (令和3年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
23 新 移住施策を活用して市外から移住した延べ人数	88 人	67 人	100 人	遅れ
24 新 指定宅地における住宅建築率	41.9 %	45.9 %	50.0 %	順調
25 住宅相談窓口年間相談数	36 件	42 件	45 件	順調
26 空き家の有効活用支援延べ件数(サテライトオフィス、シェアオフィスを含む。)(累計)	1 件	4 件	3 件	達成
27 新 空き家情報バンクへの登録件数	36 件	51 件	40 件	達成
28 ロケ地来訪者(川の駅)数	45,835 人/年	27,232 人/年	50,000 人/年	遅れ
29 海王丸パーク周辺入込数	1,767,400 人/年	754,100 人/年	1,850,000 人/年	遅れ
30 新 継続的に射水市にふるさと納税をした人数	295 人/年	327 人/年	320 人/年	達成
31 新 R2 市公式LINEアカウント友だち数	(基準値R2) 0 人	21,654 人	25,000 人	順調
32 新 フットボールセンターの年間利用者数	0 人/年	— 人/年	60,000 人/年	計測不可
33 コミュニティバス等乗車人数	418,572 人/年	348,259 人/年	450,000 人/年	遅れ
34 万葉線乗車人数	1,192,041 人/年	895,420 人/年	1,200,000 人/年	遅れ
35 新 小杉駅、越中大門駅の乗車人数	1,558 千人/年	1,337 千人/年	1,600 千人/年	遅れ
36 市内企業に就職したい学生の割合	50.7 %	77.7 %	70.0 %	達成
37 学生訪問支援事業の参加学生の満足度	97.2 %	88.8 %	98.5 %	遅れ
38 合同企業説明会の学生参加者数	18 人/年	14 人/年	90 人/年	遅れ
39 市のまちづくりについて「関心がある」と答える学生の割合	63.0 % (学生アンケートによる)	34.0 %	70.0 %	遅れ

※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

※新 R2…新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和2年度末の改訂時に新たに設定したもの

※計測不可…令和4年9月時点において、集計できなかったもの

○「移住施策を活用して市外から移住した延べ人数」については、新型コロナウイルス感染症の影響による移動制限のため現地確認ができない等の理由により、若者世帯に対する家賃補助制度や指定宅地取得支援制度等の利用者が減少した。引き続き、呉西圏域連携事業による移住者向けバスツアーのほか、移住専用サイトを活用し、移住者へのPR強化に努める。

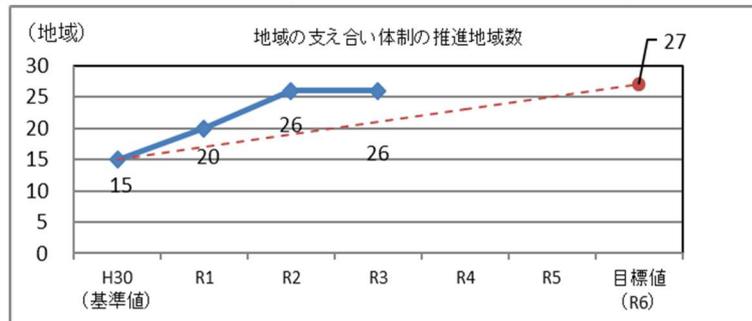
○「学生訪問支援事業の参加学生の満足度」については、バスツアーが1コースのみの実施になった。就職を考える上での参考になったという意見が多いことから、より満足度の高いツアー内容を検討していく。

○「合同企業説明会の学生参加者数」については、合同企業説明会の開始解禁直後に他の説明会等とも開催日程が集中したため、参加者数が減少した。より多くの参加学生を確保するため、開催方法(対面・オンライン・併用)については、今後の感染状況や参加者(事業者・学生)のニーズを見極めながら、検討していく。

基本目標4 安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)
地域の支え合い体制の推進地域数	15地域	26地域	27地域

進捗度
順調



<主な取組及び成果>

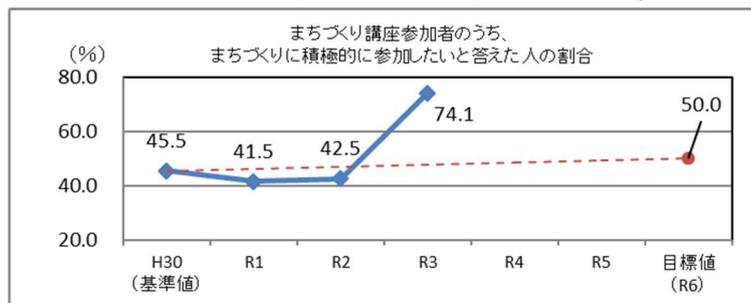
- 1 高齢者が地域において自立した日常生活を営むことができるよう、地域振興会単位で住民主体の多様な地域活動の創出及び地域の支え合い体制の整備を推進した。

<今後の取組>

- 1 生活支援コーディネーター(第1層[市]、第2層[地域包括支援センター]、第3層[地域振興会])による生活支援や介護予防サービス体制を充実する。
- 2 市内全域での事業実施及び地域での住民主体の多様な支え合い活動が、より充実するよう支援する。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)
まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	45.5%	74.1%	50.0%

進捗度
達成



<主な取組及び成果>

- 1 「射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～」を実施し、地域振興会やNPO法人の活動を紹介し、まちづくりに参画する市民の裾野を広げるよう努めた。
- 2 「射水市まちづくりセミナー」を実施し、オンライン配信を活用したまちづくりシミュレーションゲームや、情報発信、ファシリテーション講座を開催し、参加者のスキルアップを図った。

<今後の取組>

- 1 引き続き民間活力を導入し、協働のまちづくりへの理解を広め、参画意識を高めていく事業を実施する。
- 2 地域に対する愛着を深め、まちづくりに積極的に参加しようとする機運の醸成に努める。また、参加者アンケートを実施し、事業効果の検証を行う。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	1	5	2	4	3

※把握できなかった2件を除いて計上

KPI	基準値 (平成30年度)	実績 (令和3年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
40 総合患者満足度数	4.13 点	4.14 点	4.15 点	順調
41 防災士取得者数	109 人	145 人	162 人	順調
42 消防団員数	707 人	678 人	757 人	遅れ
43 新 一人／日当たりのごみの排出量	(基準値H27) 1,117 g	(実績値R2) 1,066 g	1,006 g	順調
44 新 リサイクル率	(基準値H27) 30.9 %	(実績値R2) 20.9 %	34.5 %	遅れ
45 まちづくり講座受講者数	22 人/年	102 人/年	200 人/年	概ね順調
46 新 事業運営を担う中核的法人数	0 法人	0 法人	2 法人	維持
47 元気な高齢者の割合	82.0 %	81.3 %	78.0 %	維持
48 新 R3 セミナー受講者の満足度	(基準値R3) — %	— %	80 %	計測不可
49 新 R3 女性キャリアアップ応援補助金年間利用件数	(基準値R3) — 件	— 件	20 件	計測不可
50 新 多文化こどもサポートセンターの年間参加者数	176 人	232 人	200 人	達成
51 見直しする公共施設数	32 件	39 件	42 件	順調
52 ICカードの多目的利用業務数	4 業務	4 業務	10 業務	維持
53 新 IoT活用延べ業務数	0 業務	5 業務	15 業務	概ね順調
54 新 RPA活用延べ業務数	0 業務	14 業務	20 業務	順調
55 新 R2 テレワーク活用延べ件数	(基準値R1) 0 件	50 件	360 件	維持
56 呉西圏域で連携して取り組む事業数	32 件	31 件	33 件	遅れ

※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

※新 R2…新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和2年度末の改訂時に新たに設定したもの

※新 R3…新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和3年度末の改訂時に新たに設定したもの

※計測不可…令和4年9月時点において、集計できなかったもの

- 「多文化こどもサポートセンターの年間参加者数」については、減少傾向にあったが、令和元年度から、太閤山地区の小中学校にチラシの配布など周知に努めたほか、コロナ禍においてもできる限り開設し、外国籍の子どもたちが集える場として利用者が増加した。
- 「ICカードの多目的利用業務数」は、介護保険に係る申請手続を電子申請で行うことができる「介護ワンストップ」を導入、「IoT活用延べ業務数」は、保育園の登降園管理のほか4業務、「RPA活用延べ業務数」は、会計年度任用職員給与集計シート作成・確認業務をはじめ14業務に活用し、3,113時間の削減効果があった。
- 「テレワーク活用延べ件数」は、市職員でテレワークを実施した件数を計上しており、令和2年度にテレワーク専用端末を30台導入し、令和3年5月から本格実施を開始した。

5 総合戦略の改訂

今後、国の動向（例年12月に国の総合戦略を改訂）を踏まえ、検討する。

6 令和3年度地方創生交付金活用事業の効果検証

令和3年度に国の地方創生推進交付金を活用した事業は、以下のとおりです。

①高齢者と観光客が融合するまち「射水」創造事業

事業費 57,027千円
 交付金額 28,347千円

<事業概要>R1～R5

①観光客の玄関口である北陸新幹線新高岡駅から新湊地区、そしてあいの風とやま鉄道小杉駅を結ぶ周遊バス等を運行し、交流人口の拡大によるにぎわいの創出を図る。

②新湊地区にある複数の観光地と既存商店街とを結ぶ移動手段として、電動カートや電気自動車の導入を図り、観光客の利便性向上とともに、地域の高齢者の買い物の足とすることで、商店街の復興と活性化を図る。また、地域資源の掘り起こしによる新商品開発による販路拡大や創業支援による新規出店を促すため、キッチンカーの活用を図る。

③本市の玄関口である小杉駅から観光客を新湊地区に誘導する方策を検討する。

KPI		H30	R3	R5
商店街等新規出店支援事業補助金交付件数(件)(累計)	目標値		7件	13件
	実績値	0件	6件	
内川(川の駅)来訪者数(人)	目標値		45,570人	46,370人
	実績値	44,370人	27,232人	
あいの風とやま鉄道小杉駅乗車数(一日当たり)(人)	目標値		3,203人	3,213人
	実績値	3,188人	2,748人	
元気な高齢者の割合(要介護認定等を受けていない者の割合)(%)	目標値		81.0%	81.0%
	実績値	81.0%	81.5%	

<主な取組及び成果>

- 前年度実施した周遊バス運行の検証結果を踏まえ、新高岡駅とベイエリアを結ぶ路線及び富山駅とベイエリアを結ぶ既存路線(ぶりにかにバス)の増便の実証運行を行った。新高岡駅の路線では1便あたり0.29人、ぶりにかにバス増便分で1便あたり3.63人であった。また、小杉駅からの水上交通の実証運行を行い、約3か月で利用者は140人であった。
- 前年度実施した、電気三輪自動車を活用した新たな地域公共交通「べいぐるん」の実証運行の検証結果を踏まえ、運行範囲や運行方法等を変更し、再度実証運行を実施したほか、レンタカー事業の需要等を調査するため、電動カート2台を導入し、新たな観光モビリティ「べいかーと」の実証運行を行った。また、キッチンカーを貸出し、創業や事業者支援を行った。加えて、SNSで人気の高いイナガキヤスト氏監修の台湾向けポスターの作成及び写真展を開催し、情報発信に取り組んだ。

<今後の取組>

周遊バス等運行事業については、令和4年度は、海の幸が魅力的な年度後半にぶりにかにバスの増便を実施する。

商店街復興及び活性化等事業については、べいぐるん及びべいかーとについて、前年度の実証運行の検証結果を踏まえ、運行内容等の見直しを行い、再度実証運行を実施し、地元商店街の産業振興と高齢者にやさしいまちづくりに繋げるための運行内容を確立する。また、キッチンカーやシェアキッチンを活用した創業者支援・販路拡大支援事業を実施するとともに、商品開発・販路拡大セミナーやアドバイザーによる助言を受ける機会を設け、知識や取組手法を学び、商店街の活性化に繋げる。

②アフターコロナを見据えた「稼げる」観光地づくり

事業費 1,957千円
 交付金額 978千円

＜事業概要＞R3～R5

「数」以上に「質」を重視し、何度でも訪れたくなる「選ばれ続ける観光地」としても魅力を向上させることで、コアな富山ファン・リピーターの獲得や消費単価・滞在日数の増を図るため、(公社)とやま観光推進機構を中核とし、県内15市町村や地域の多様な三箇用・人材が参画した地域主導による「稼げる」観光地づくりを推進する。平成28年5月に日本版DMO候補法人として登録された(公社)とやま観光推進機構を中心に、官民一体となって取り組むもの。

●アフターコロナを見据えた「稼げる」観光地づくり

- 北陸新幹線の敦賀開業を見据えた戦略的プロモーションの展開
- 「日台観光サミット」「世界で最も美しい湾クラブ世界総会」の開催実績を活かした国際観光交流の推進
- 美術館等における魅力の磨き上げと新たな魅力・価値の創造等による誘客促進

KPI		R2	R3	R5
観光消費額単価(宿泊・日帰り(円/人回))	目標値		9,120円	9,600円
	実績値	8,880円	—	
観光客入込数(実数)(千人)	目標値		11,069千人	11,129千人
	実績値	11,039千人	—	
日本橋富山館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数(人)	目標値		22,500人	35,000人
	実績値	15,000人	—	
県立美術館等の年間来館者数(人)	目標値		420,000人	570,000人
	実績値	400,000人	—	

※実績値の公表は翌年度の秋以降

＜主な取組及び成果＞

とやま観光推進機構が企画するWEBサイト(VISIT富山県)の旅行商品に、射水の新鮮な海の幸を味わう「新湊S級グルメ」や「日本のベニス内川」等の日帰りツアーを販売し、市内への誘客を図った。また、射水市公式フォトアンバサダーでもあるイナガキヤスト氏の内川等の写真も活用し、市内の魅力の発信に効果があった。

＜今後の取組＞

引き続き、とやま観光推進機構を中心に、連携自治体・市町村観光協会・観光事業者等と協力の上、特に当該市の観光振興施策に取り組む。

③「みらい」へつなぐ持続可能な富山型グローバル交通ネットワーク形成事業

事業費 875千円
 交付金額 437千円

＜事業概要＞R1～R5

●地域公共交通ネットワークの確保・充実

県民・観光客等の地域公共交通の利用が進むよう、県・市町村・交通事業者が連携を図り、バスの乗継案内・運行情報(遅延情報)や沿線の観光情報の情報提供(多言語化対応)、運行間隔の短縮のための増便、条件不利地域(過疎地域等の中山間地域)での利用活性に向けた調査・実証運行等を行うなど、ニーズに応じた交通サービスの提供や接続利便性の向上により地域公共交通ネットワークの再構築を進める。

●県内外との広域交通ネットワークの確保・充実

県内や県外との周遊機能を高めるため、新幹線駅・拠点駅等と県内観光地・隣県観光地とスムーズに周遊できる広域的な公共交通サービスの充実や、多彩な鉄道・軌道を活かしたツーリズムの活性化に取り組む。

●富山空港の機能の充実

・羽田線の維持・充実、関西、九州・沖縄などへの新規路線やチャーター便の開拓など、国内航空ネットワークの充実、及び国際路線の維持・拡充に取り組む。
 ・空港の利便性の向上や活性化を促進、及び空港内の施設の適切な維持管理、航空機の運航に対する安定性の確保に努める。

KPI		H30	R2※	R3
鉄軌道・バスの利用率(県民1人当たりの年間利用回数)(回)	目標値		47.05回	47.60回
	実績値	46.00回	34.30回	
観光客の県内交通機関の満足度(%)	目標値		55.8%	57.8%
	実績値	50.8%	49.4%	52.7%
農林漁業等体験者数(県内における棚田オーナー、観光農園、地引網等の体験活動に参加した延べ人数)(人)	目標値		71,947人	73,822人
	実績値	68,199人	20,850人	
富山空港国内・国際路線(チャーター便含む)の利用者数(人)	目標値		581,395人	586,060人
	実績値	573,120人	67,136人	100,050人

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

＜主な取組及び成果＞

令和元年度に県・交通事業者と連携して開発したバスロケーションシステム「とやまロケーションシステム」の維持管理を行った。コロナ禍で、KPIの進捗状況は低調であったが、連携自治体・交通事業者、沿線の商店・観光施設などと協力のうえ、利用者の利便性向上に努めた。

＜今後の取組＞

事業期間の2年延長が承認され、今後も引き続き時刻表データの更新等システムの維持管理を適切に実施するとともに、データの利活用や利用促進に取り組み、観光客等への情報提供や、乗りやすく便利な交通環境を整備することにより、交通ネットワークの構築を図る。

④「山と森から富山湾へ 清らかな水の循環の創造」SDGsプロジェクト

事業費 4,707千円
 交付金額 2,353千円

<事業概要>R1~R3

●県民や経済界、市町村など県全体が一丸となって持続可能な産業振興に取り組む連携体制の構築と機運の醸成

・県内市町村と連携し、親子連れや若年層に対して、環境保全や食品ロス、地下水の保全などSDGsに関する取組についてのシンポジウムやワークショップ、経営者向けトップセミナー、体験・啓発イベントを開催するなどSDGs理念を一層普及させる。

●美しい富山湾の「環境」魅力の維持・向上に向けた取組みによる新たな「観光」魅力の創出

●美しい富山湾で持続可能な漁法により漁獲した「富山のさかな」が高付加価値であることのPR

●エシカル消費のマーケット拡大に向けて特に若年層を対象に、社会や環境に配慮した消費行動を喚起

●県民と事業者の双方に対する地下水保全の理解促進と県内外へのPR

KPI		H30	R2※	R3
観光地入込数(富山湾岸エリアの主要観光地・観光施設)(万人)	目標値		328万人	333万人
	実績値	319万人	187万人	
県産代表6魚種の産出額(税抜)(億円)	目標値		40.65億円	41.40億円
	実績値	39.30億円	—	
食品ロス等削減に取り組む協力事業者数(件)	目標値		316件	350件
	実績値	246件	862件	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

<主な取組及び成果>

「世界で最も美しい湾クラブ」加盟記念モニュメントが設置されている海王丸パークでのイベント時に(公財)伏木富山港・海王丸財団が主になり、富山湾の環境保全などSDGsの取組についてパネル展示を行い、理念の普及に繋がった。

<今後の取組>

海王丸パークでのイベント、海王丸の保存活用事業を通じて、SDGs啓発を実施し、富山湾の環境保全、魅力向上等に繋げる。

引き続き、SDGsの普及・啓発のため、「開疎な脱炭素コミュニティ構築プロジェクト」の一事業として、令和4年度~6年度までの3か年にわたり、県連携事業を実施する。

⑤スポーツ施設を核とした地域活性化事業(地方創生拠点整備交付金事業)

事業費 1,576,132千円
 交付金額 660,554千円

<事業概要>R2~R3

スポーツ合宿誘致への需要に対応するため、県西部唯一の人工芝グラウンド2面及び屋根付きフットサル場を整備し、スポーツ合宿誘致を通じた稼ぐ地域づくりを進めるとともに、既存イベント等を通じて近隣施設と連携し、より多くの人々を呼び込み、「射水の大スポーツエリア スポーツ合宿等で選ばれるまち 射水」として魅力創出を図る。

整備に当たっては、地元ケーブルテレビ局と連携・協力し、ローカル5G環境を整備するとともに、AIカメラを設置した。AIカメラは自動で、撮影・収録・編集・配信を同時に行い、YouTubeなどを通して世界中に大容量動画をシームレスに同時配信することで国内はもとより、世界中の有名な指導者からの遠隔指導が可能となるほか、同時に臨場感溢れるライブ映像を提供する。

また、IoTを活用した運動解析プログラムを提供し、現地での指導環境を充実させることに加え、ローカル5G環境が整ったホテルとの連携により撮影した映像によるプレー分析をホテルで行うことを可能にした。

さらに、近接する県内有数のスポーツトレーニング施設であり、温水プール・アリーナ・各種専門的なトレーニングマシンを備えた海竜スポーツランドを開放することで、身体能力の向上を図るための複合的なトレーニングメニュー等の提供が可能となり、スポーツ合宿のニーズに対応できる環境を整える。

KPI		R1	R3	R6
フットボールセンターの利用者数(人)	目標値		0人	60,000人
	実績値	0人	0人	
スポーツ合宿の誘致件数(件)	目標値		0件	30件
	実績値	0件	0件	
全国大会開催数(件)	目標値		0件	3件
	実績値	0件	0件	
総合型地域スポーツクラブ会員加入率 (クラブ入会者数/射水市人口)(%)	目標値		4.80%	5.00%
	実績値	4.80%	4.53%	

<主な取組及び成果>

フットボールセンター整備工事を行い、令和4年3月に完成した。また、財源獲得のための取組を進め、企業版ふるさと納税やネーミングライツ等有料広告の募集に取り組んだ(R3企業版ふるさと納税実績13件、ネーミングライツ年385万円、有料広告枠18枠中全枠応募あり)。

<今後の取組>

県内外の多くの方に利用していただくため、大規模な大会やスポーツ合宿の誘致を進め、交流人口の増加を図り、スポーツを通じたにぎわい創出の拠点となるよう取り組んでいく。

事業費(R2) 2,327千円
 交付金額(R2) 1,163千円

<事業概要>H28～R2

平成28年5月に日本版DMO候補法人として登録された(公社)とやま観光推進機構を中心に、「選ばれ続ける観光地 富山」を目指し、官民一体となって「マーケティング＝売れる仕組みづくり」と「ブランディング＝上質なライフスタイルのブランドイメージの確立」に重点的に取り組む。

- 戦略的な観光地域づくり・広域観光の拠点化
- 富山らしい魅力創出・戦略的なプロモーション
- 美術館・博物館・芸術文化施設等の魅力向上・発信による誘客促進
- 首都圏等での戦略的情報発信による富山のブランド力アップ
- 季節に応じた富山の食の魅力の発信・イベント開催等を通じた「食のとやまブランド」の確立

KPI		H27	R2
富山県全体の観光消費額(億円)	目標値		2,110億円
	実績値	1,635億円	980億円
首都圏のアンテナショップへの来館者数(人)	目標値		1,150,000人
	実績値	508,000人	421,905人
県立美術館等の年間来館者数(人)	目標値		620,000人
	実績値	397,000人	400,000人
延べ宿泊者数(人)	目標値		4,921,490人
	実績値	3,895,490人	2,228,020人

<主な取組及び成果>

新型コロナウイルス感染症による移動制限等の影響で来館者数が減少したが、県及び県内市町村と連携し、観光資源の磨き上げ、旅行商品の企画・販売、プロモーションなど、様々な情報を発信することで、オール富山で戦略的な魅力発信を行うことができた。本市の旅行商品としては、「新湊観光遊覧」や「内川着物散策」、「かに小屋」などをツアーに盛り込み販売した。

<今後の取組>

とやま観光推進機構(日本版DMO)を中心に連携自治体・市町村観光協会・観光事業者等と協力の上、特に当該市の観光振興施策に取り組む。
 なお、令和3年度から、コロナ後を見据えた新たなニーズに対応するため、DMOを中核とし、市町村や地域の多様な産業・人材が参画した地域主導による「稼げる」観光地づくり推進事業(地方創生推進交付金事業)を3か年にわたり実施する。

7 総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標

項目	新規	数値目標、KPI	基準年度	基準値	目標値 (令和6年度)	目標値の確認方法
基本目標1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり	数値目標	「子育てが楽しい」と回答する割合	H30	97.8 %	100 %	健診に来た保護者への問診結果
		「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	H30	(小)93.3 % (中)80.5 %	(小)100 % (中)100 %	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
結婚に対する支援		1 男女出会いイベント年間開催数	H30	4 件	8 件	婚活サポーターズクラブ主催のイベント及び市が助成し民間が主催するイベントの件数
子育て支援サービス等の充実	重要業績評価指標 (KPI)	2 休日保育実施保育園数	H30	9 園	10 園	休日保育を実施する保育園の数
		3 子育て支援センターの年間利用者数	H30	50,122 人	55,000 人	子育て支援センターの年間利用者数(市内子育て支援センター9か所の利用者の合計値)
		新 R2 4 射水市子育て支援センター利用者満足度	R1	89.0 %	100 %	利用者アンケートの質問事項として設定(子育て支援センター(キッズポート内)利用者へのアンケート)満足、おおむね満足の割合
		5 子育て情報ちやいる.comへのアクセス数	H30	99,569 件	538,000 件	子育て情報ちやいる.comへのアクセス件数(累計)
		新 6 赤ちゃんの駅設置箇所数	H30	37 箇所	45 箇所	赤ちゃんの駅設置箇所数
		7 男性の育児・家事参加促進	H30	18.9 %	20 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
親と子の健康づくりの推進		8 3歳6か月児健康診査の受診率	H30	99.2 %	100.0 %	3歳6か月児健康診査の受診率
未来を担う子どもたちの学力定着、たくましい子どもの育成		9 家庭学習の1日当たり時間が「10分間×学年」以上の児童・生徒の割合	H30	(小)88.2 % (中)68.3 %	(小)100 % (中)100 %	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
郷土愛を育む教育の推進		10 地域の行事に参加している児童・生徒の割合	H30	(小)79.3 % (中)61.2 %	増加	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
それぞれの子どもに寄り添った教育の推進		11 不登校児童・生徒数	H30	(小)32 人 (中)63 人	減少	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
家庭や地域における教育の充実		12 家庭教育に関する講座・学習会の年間参加者数	H30	994 人	1,100 人	いみず親学びスクール、子育て井戸端会議、家庭教育アドバイザースキルアップ研修会の参加者合計
基本目標2 地域のしごとづくり	数値目標	雇用創出数(年間求人数)	H30	10,217 人	11,000 人	ハローワーク高岡管内の年間求人数
		6次産業化推進事業件数(累計)	H30	1 件	3 件	県の6次産業化サポートセンターを利用した事業件数
企業等誘致の推進		13 市内企業団地分譲率(サテライトオフィスを含む。)	H30	97.6 %	100.0 %	市内企業団地分譲率
創業や意欲のある企業への支援		14 創業支援事業補助金年間利用件数	H30	15 件	20 件	創業支援事業補助金年間利用件数
産学官金連携による共同研究、学術交流の実施		15 産学官金連携共同研究の年間件数	H30	14 件/年	15 件/年	共同研究の件数を富山県立大学の地域連携センターから報告
射水ブランド商品開発支援、情報発信	新	16 射水ブランド商品開発等支援補助金を活用した延べ件数	H30	1 件	7 件	射水ブランド商品開発等支援補助金を活用した延べ件数
6次産業化の推進	新	17 養殖サクラマスの年間出荷数	H30	17,200 尾/年	40,000 尾/年	堀岡養殖漁業協同組合から報告
情報通信技術の活用	新	18 IT、IoTを活用して生産性向上に取り組む事業者の割合	H30	— %	30 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果(新規に項目を設ける)
	新 R2	19 テレワークを実施している企業数	R2	—	増加	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発	新	20 長時間労働の削減に取り組む事業者の割合	H30	56.3 %	65 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
勤労者の福利厚生への充実		21 中小企業退職金共済加入者数	H30	3,759 人	4,200 人	中小企業退職金共済から報告
人材確保に対する支援		22 人材確保充足数	H30	1,601 件	1,650 件	ハローワークで出している市内企業の求人に対し、求職者をマッチングした件数

項目	新規	数値目標、KPI	基準年度	基準値	目標値 (令和6年度)	目標値の確認方法
基本目標3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり	数値目標	純移動数(転入者数-転出者数) ※直近の5年間の累計	H30	△164人	0人 (均衡)	富山県人口移動調査による
	新	射水市観光ホームページ閲覧数	H30	332,298件	600,000件	観光協会が運営しているホームページの閲覧数(累計)
移住交流の推進	新	23 移住施策を活用して市外から移住した人数	H30	88人	100人	移住施策を活用して市外から移住した延べ人数
住宅支援	新	24 指定宅地における住宅建築率	H30	41.9%	50%	指定宅地における住宅建築率
住宅相談・住まい情報の提供		25 住宅相談窓口年間相談数	H30	36件	45件	射水市住宅関連情報提供事業の一環として設置している住宅相談所での相談件数
空き家の有効活用		26 空き家の有効活用支援延べ件数 (サテライトオフィス、シェアオフィスを含む。)	H30	1件	3件	各種助成制度を活用し、空き家の有効利用を図ったものの延べ件数
	新	27 空き家情報バンクへの登録件数	H30	36件	40件	空き家情報バンクへの登録件数
観光資源の有効活用		28 ロケ地(川の駅)年間来訪者数	H30	45,835人/年	50,000人/年	川の駅新湊の入込数
		29 海王丸パーク周辺年間入込数	H30	1,767,400人/年	1,850,000人/年	海王丸パークときっとときと市場の入込数の合計
関係人口の創出	新	30 継続的に射水市にふるさと納税をした人数	H30	295人/年	320人/年	3年以上継続して射水市にふるさと納税をした人数
	新R2	31 市公式LINEアカウント友だち数	R2	—	25,000人	市公式LINEアカウントの友だち数
スポーツによる交流人口の拡大	新	32 フットボールセンターの年間利用者数	H30	0人/年	60,000人/年	R3年度に建設予定のフットボールセンターの年間利用者数
コミュニティバス、デマンドタクシー運行の利便性向上		33 コミュニティバス等乗車人数	H30	418,572人/年	450,000人/年	コミュニティバスとデマンドタクシーの乗車人数
2次交通の充実		34 万葉線乗車人数	H30	1,192,041人/年	1,200,000人/年	万葉線の乗車人数
	新	35 小杉駅、越中大門駅の乗車人数	H30	1,557,820人/年	1,642,500人/年	あいの風とやま鉄道が発表する1日あたりの乗車人数×365日
高等教育機関、企業等と連携した学生の地元就職支援		36 市内企業に就職したい学生の割合	H30	50.7%	70.0%	市内企業訪問バスツアー参加者に対するアンケート調査結果
		37 学生訪問支援事業の参加学生の満足度	H30	97.2%	98.5%	市内企業訪問バスツアー参加者に対するアンケート調査結果
		38 合同企業説明会の年間学生参加数	H30	18人/年	90人/年	合同企業説明会の学生参加数
学生の地域活動への参画		39 市のまちづくりについて「関心がある」と答える学生の割合	H30	63%	70%	学生アンケートの結果

項目	新規	数値目標、KPI	基準年度	基準値	目標値 (令和6年度)	目標値の確認方法
基本目標4 安心して暮らせる時代に合ったまちづくり	新	地域の支え合い体制の推進地域数	H30	15 地域	27 地域	地域支え合いネットワーク事業を実施している地域数
		まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	H30	45.5 %	50 %	まちづくり講座(まちプラ、まちづくりセミナー等)への参加者に対するアンケート
医療体制の充実と質の高い医療の提供		40 総合患者満足度数	H30	4.13 点	4.15 点	入院患者を対象に行っている満足度調査の結果
地域の防災体制の整備、安全・安心な暮らしの実現		41 防災士取得者延べ人数	H30	109 人	162 人	防災士取得者数
		42 消防団員数	H30	707 人	757 人	消防団員数
低炭素・循環・自然共生による価値の創出	新	43 一人/日当たりのごみの排出量	H27	1,117 g	1,006 g	国報告値 ※9月議会で報告する場合、前々年度の実績値となる(各年度の国確定値の報告が翌年度の1月ごろになるため)
	新	44 リサイクル率	H27	30.9 %	34.5 %	
地域づくりの担い手育成、情報通信技術の活用による利便性の向上		45 まちづくり講座年間受講者数	H30	22 人	200 人	まちづくり講座(まちプラ、まちづくりセミナー等)への参加者数
全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の展開	新	46 事業運営を担う中核的法人数	H30	0 法人	2 法人	老若男女が活躍できる「ごちゃまぜ」のまちづくりに主体的に取り組む法人数
高齢者が健康で生きがいを持ち活躍できるまちづくりの推進		47 元気な高齢者の割合	H30	82 %	78 %	65歳以上人口のうち、要支援・要介護認定を受けていない者の割合
女性活躍の推進	新R3	48 セミナー受講者の満足度	R3	— %	80 %	セミナー受講者に対するアンケート結果
	新R3	49 女性キャリアアップ応援補助金年間利用件数	R3	— 件	20 件	補助金申請件数
多様性を認め合う共生社会の実現	新	50 多文化こどもサポートセンターの年間参加数	H30	176 人/年	200 人/年	多文化こどもサポートセンターの年間参加数
人口減少を踏まえたストックマネジメントの強化		51 見直しする公共施設の延べ件数	H30	32 件	42 件	廃止した累計の施設数 ※在り方検討の結果、目標値を見直す
情報通信技術の活用による利便性の向上及び行政の効率化		52 ICカードの多目的利用延べ業務数	H30	4 業務	10 業務	マイナンバーカードを利用できる業務の数
	新	53 IoT活用延べ業務数	H30	0 業務	15 業務	IoTを活用する市の事業の数
	新	54 RPA活用延べ業務数	H30	0 業務	20 業務	RPAを活用する市の事業の数
	新R2	55 テレワーク活用延べ件数	R1	0 件	360 件	市職員でテレワークを実施した件数 (目標:テレワーク端末30台×12か月)
とやま呉西圏域連携中枢都市圏の取組強化、官民連携事業の推進		56 とやま呉西圏域連携中枢都市圏で取り組む事業数中、本市が参加する年間事業数	H30	32 件	33 件	とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づき実施された事業のうち、本市が参加する事業数